

まちなみ通信 みのお

発行：NPOみのお市民まちなみ会議 第44号 2011年11月 止々呂美特集

止々呂美の景観を守る

みのお市民まちなみ会議 大町 凱彦

止々呂美地区は、余野川に沿った棚田が周囲を囲む山並みと一体になった緑豊かな景観を醸しだし、鰻絵の施された虫籠窓の民家、鞘堂のある神社、茅葺き屋根の寺院、12神将像や石仏など貴重な歴史的建造物、文化財が数多く残されている。

グリーンロードトンネルの開通で、多くの市民が身近かに故郷を思い出させる風景であり、箕面に残された唯一の山里景観を形成している。

しかし、此の地も急速に時代の波



が押し寄せ、都市化の影響を受けようとしている。高齢化社会の進展を喰い止める為、箕面森町の造成開発により、新市民の流入による世代の若返りを促し、小中一貫校の創設（とどろみの森学園）、自然を活かした交流の拠点作り（止々呂美ふるさと自然館）など、新たな街づくりが進められている。

加えて新名神自動車道の着工、特にインターチェンジの設置は、止々呂美地区が大

大きく変貌しようとしている。高速道路の整備は、周辺の街の活性化につながり、特に宝塚トンネル付近の慢性的渋滞による膨大なエネルギーの損失解消、幹線高速道の複数ルート化による災害時の交通路確保（大山崎 IC ～神戸 JCTは単線ルート）を考慮すれば、整備の必要性を認めざるを得ない。

しかし、インターチェンジの設置は、利便さ、人の流れの変化をもたらすが、一方で沿道に各種の店舗を含むサービス施設の増加、客を誘導する野立て看板の乱立、交通の利便性に依る資機材置き場の設置など、新たな建物の建設に伴うデザイン、色彩、工作物、緑化など他の地域の実例でも見られるように、都市化が急速に進むことが予測される。



区域：上止々呂美及び下止々呂美など下図に示す区域

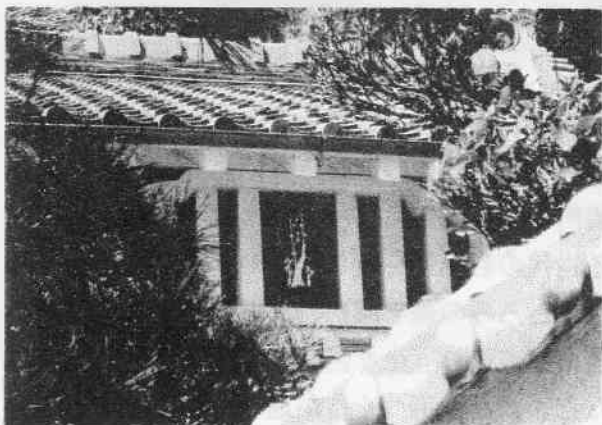
面積：約770ha



そこで、箕面市では如何にして、これまで地域の方々の努力で守られて来た、止々呂美の景観に配慮し、「止々呂美らしさ」を次世代に継承する施策を検討している。

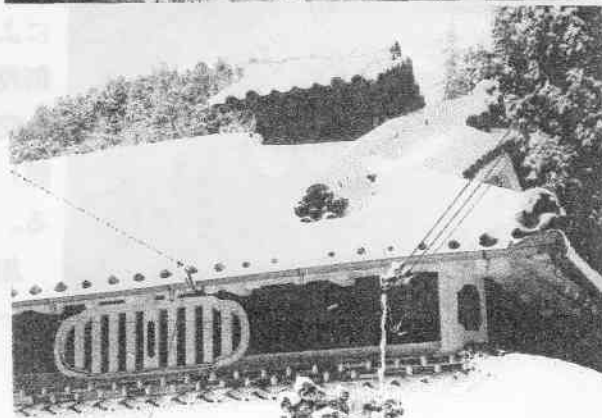
主な内容は止々呂美地区の集落、山林・樹林地約 770haを地域指定して、宅地造成、木材の伐採などの現状変更行為、建築物等の新築、増改築などの行為、広告物の表示などが、景観法などの届出対象区域となる。（なを、箕面森町地区は既に地域指定済み）

具体的には他地区で規制されている、景観形成のルールに加えて、止々呂美らしい集落景観に配慮して、勾配屋根、壁面素材や色彩に一定の基準を設け、自動販売機の設置にも一定のルールを設けたり、自家用広告物以外の規制など、止々呂美の背景となる山なみ景



観との調和を特に重視する内容となっている。

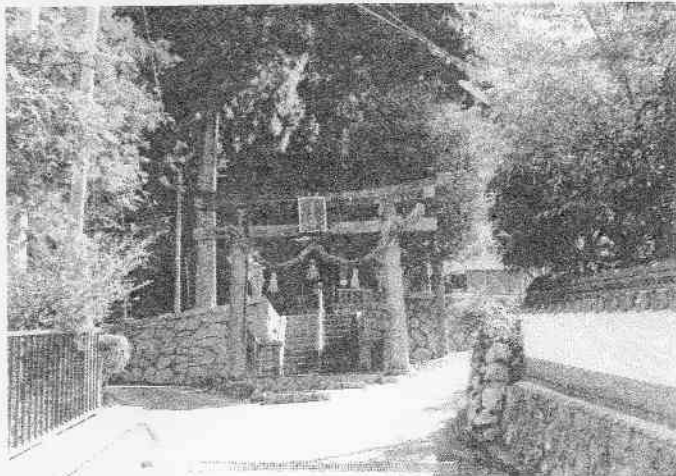
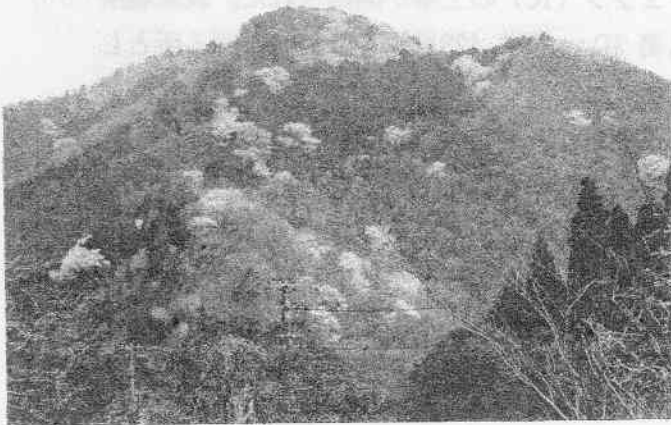
これらの素案は、すでに箕面市都市景観審議会、都市計画審議会に提言し、成案を広く



市民に提示して、多くの方々から意見を聴き、両審議会の諮問を経て関係条例などの改正が行われる予定で進捗している。

しかし、条例の改正などは、最低限のルールで市民の一人一人が、止々呂美の自然と、景観に関心を持ち、「止々呂美らしさ」を次世代に継承する意識と行動こそが大切だと考える。

引用は、箕面市都市景観審議会議案書



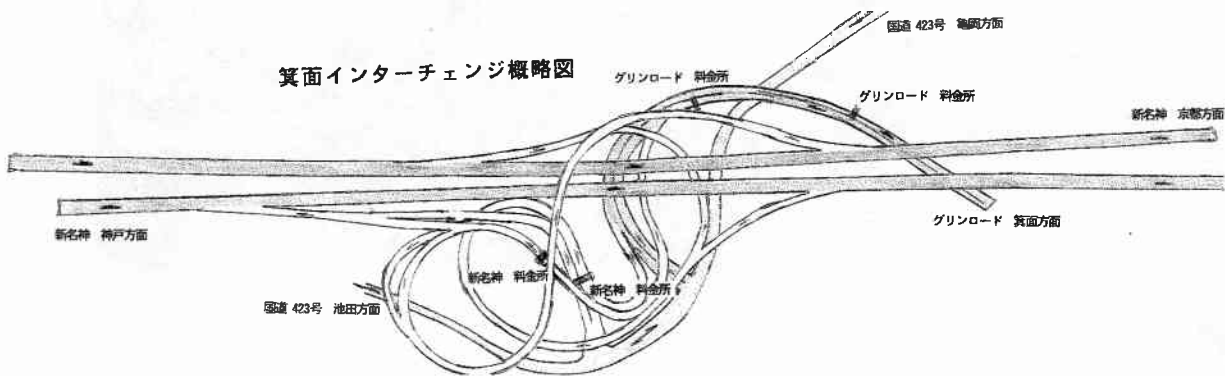
”東日本、西日本各地へ旅” つながる

箕面（仮称）インターの設置

新名神高速道は、名神高速などの機能を補完し、高速ネットワークに求められる、高速性、定時性、快適性、安全性などを高め、沿道の住民の生活向上発展を目指して着工された。

下止々呂美地区では、本線及びインターチェンジ（IC）の工事が開始された。設置場所は大阪府が管理するグリーンロードの止々呂美 IC、国道 423号線との接続を図る所とした。しかし、前後左右から山が迫った狭い場所である。

着工に当たり、西日本高速は大規模な切土工事などが発生するため、景観に配慮し箕面市の都市景観条例に基づき、景観アドバイザーと意見交換した。道路の運営管理者が、西日本高速、大阪府と異なり料金所が統合出来ず、両道路を直接往来する連絡橋など、複雑な曲線のランプ橋が交差する。また大規模な切土工事は可能な限り抑制し、自然環境に馴染む素材の使用を図り、施工後の緑化に努め、ランプ橋の橋脚は、角柱でなく円柱を採用するなどの配慮をすることで、都市景観審議会の了承を得た。



これらが完成の暁には、箕面トンネルを抜けると、すぐに IC を経て、北陸、東北、東海、東京、関東方面や中国、四国、九州方面、つまり沖縄、北海道を除く各地に向けてスムーズに走れるかと思うと、旅の夢が膨らみワクワクしてしまう。また、逆に全国各地から箕面や新御堂筋経由で大阪への来訪者が、増加することが期待される。

(大町 凱彦)